

エーデルワイス通信

10月号

2023年9月30日発行 制作 坂井印刷

自分から始まった人生！
道産子根性を忘れず
地域でねばこく生きよう！



お知らせ



秋祭りも終了しいよいよ秋の涼しさから寒さへと季節の変わる時期となってきております。ご利用者の皆様の健康を維持する為には、気温が安定はじめた9月より冬に備えた体力づくりと食欲増進から必要な方には、体重増をご支援させていただきます。おやつや、料理にも、ご利用者様がすること・できないことの情報から、できることのみ集中していただき、出来上がった物は“ご利用者様がおつくりになった作品”として皆様から拍手をいただき、皆様へのふるまいに大変喜んでいただいております。体制も変わり、働く人等が働きやすい環境をつくることと、給与の昇給アップなど社長共々全体を通して見直しをかけております。外国人の皆様も職員として同じ働きをしていただき優しさをいっぱいご利用者様はいただいております。場所が変わってもそこに住む人々にご奉仕の心を届けていただけることに感謝するばかりです。10月もご縁に感謝し笑顔の多い職場を目指していきたくと思います。

総施設長

機能訓練重視型デイサービス 華蓮（かれん）



9月の作品展には、展示している作品を見に外出支援を行いました。自分たちで作った作品に「あれ、私たちつくったよね～」と交流も見られ、他の事業所の作品を見ることで、「絵具を使いたい」と希望の声も上がり、10月にむけて、秋の食べ物の作品作りを予定しています。敬老の日は、帽子の形のキーホルダーを作成し、お渡しさせていただきました。

ものわすれ専門デイサービス エーデルワイスⅢ号館

今月のデイサービスⅢ号館では、9月18日に敬老の日のお祝いを行いました。スタッフから折り紙で作ったお守りや感謝の言葉のカードをプレゼントさせて頂き、皆様から「お守りなんて嬉しい！」「こちらこそありがとうだよ」と笑顔と嬉しいお言葉を頂きました。

また、外出支援ではNHKギャラリー展示会や緑のセンターへ行き、自分で作った作品が飾られ「これ私が作ったやつだ」と嬉しさや様々な植物を見て「綺麗だね」とお話弾まれていました。室内では料理支援やビンゴ大会、トランプ大会を行っています。他者様との交流が多くとても賑やかなⅢ号館です。来月ではハロウィンパーティーや紅葉を見に外出支援を行いたいと思っています。



ものわすれ専門デイサービス エーデルワイス五号館

今月は皆様と一緒におやつを持って公園に行ってきました！公園でカモを見たり、子供たちと交流したりと気分転換になったかと思われます。室内では、おやつ作りや、秋の作品作りとして貼り絵や装飾品作りに参加して頂きました。季節を感じ、とても集中して取り組まれていました。来月の予定は、フラワーパライスへ紅葉を見に行ったり、外で焼き芋を作って皆様に食べて頂こうと思います！

また、季節の変わり目で体調崩しやすくなっていますので、ご利用者様・職員共に体調管理徹底しております。



グループホーム エーデルワイス

9月グループホームでは外出支援や敬老会、誕生日会、各個別機能訓練を計画と実施しました。

誕生日ではN様「私こんな素敵なお祝いありがとう!」と喜ばれていました。

敬老会の準備も利用者様には、スタッフ手作り自販機作成も日ごろの作業療法から本番まで一生懸命作成していただき「楽しみだね~!!」と交流を楽しみながら取り組むことができ、18日当日は敬老会&井ぶりフェアを開催いたしました。好みの定食セットをスタッフが法被を着て人力器機となり、1.利用者様に手作りコインを入れて頂き2.好きなボタンを押して丼物・麺類セットを選んで召し上がって頂きました。「好きなものを選んで食べられるのいいねー。食堂みたいだね」と感想もいただき、ご希望のある方のみの方の法被着用でしたが「着てみたい!おまつりだよ。」と全員の希望があり互いに喜びあいました。次回予定、希望のカード使用し図書館へ行く予定です。作品作りも継続していきます。



訪問介護事業所 エーデルワイス

日中は、過ごしやすい時期が来ました。しかし朝晩の冷え込みが強くなる季節です。訪問の際には、日頃の血圧を知っておくことなど、体調の変化に気をつけるようお声掛けをさせて頂いております。また、自室で転倒し我慢をしている人がいないように、訪問時にもお声かけさせて頂き早めの対応ができるよう心がけております。



サービス付き高齢者向け住宅 エーデルワイスシンフォニー

北海道が、一番過ごしやすいいい季節に入りました。食事の後のご近所様同士の会話にも、花が咲いているようです。朝方は冷え込むので、就寝時には、布団を一枚掛けるように、お声がけしております。

また、お伝えしたいことや、先日の尊厳死に参加されていた方もおり、独自のニュースペーパーを会員さん用におつくりし事故防止や終末期について考えていただいております。



有料老人ホーム エーデルワイス

有料老人ホームは、サー高住等での暮らしが困難になった方が利用され、北見市在住の方はグループホームの待機となっておられる方が多くいらっしゃいます。スタッフや管理者も、9月より経験豊富なグループホーム職員が管理者となり、更に認知症介護に集中できる支援をお届けさせて頂いております。

困難な受診も、往診医師の了解を得て該当の方のみお越しいただいております。

入居前には、入院中で全介助となっていた方も立位もとれるようになり、会話も徐々に成立されるようになってきております。

10月も毎日の健康チェックや看護による訪問介護等、密に医療と連携し健康維持に努めさせて頂いております。また、若干の空きがありますのでご利用をお待ちいたしております。よろしくお願いします。



編集後記

皆さん、それぞれ寒くなってきたとの話題が多くなりつつあります。夢と現実の境界線が定かではない方には、夜中の起床からお声がけをさせて頂き、「薪がないかい」とのお話から、1枚毛布をかけましょと対応すると、再び自室で朝まで休まれました。自宅のストーブを思い出され薪をくべなければと、思われたんですね。話を聞かせていただくことで行動や言葉の意味がよくわかりますね。

きたほっと食堂

暑くて来所が困難となり、今度は寒くて来所が難しい年配の方々が増えています。次回は、お茶とお菓子の時間となります。料理作り手も10年の歩みから体がきつくなっています。今年も水道が凍る時期となる前に冬眠期間の予定を関係者と話し合っております。

